

ふぞろいの北の野菜と果物を応援する会

【札幌市】

はじめは？

札幌市南区を中心として生産された農産物を消費者に広めたいという思いで発足しました。設立当初は、市場に出回らない規格外の野菜や果物を販売し、消費者に伝える活動を行っていました。その後、この活動が認められ、生協やスーパーでも、そのような規格外の商品を販売するようになり、その役目は終え、規格外農産物の販売の活動は3年で終了し、援農ボランティアの活動を始めました。

札幌市南区の農家でも後継者不足、高齢化、休耕地の問題があると考えています。札幌市の自然環境を守り、農業の多様性を実感しながら、持続可能な農業を目指す農家を応援していこうという思いから、援農ボランティアの活動を行っています。



援農ボランティア希望者説明会の様子

おもな活動



イチゴ苗の枯葉取り作業の様子

農家が本当に手伝ってもらいたいと思っている、草取りやハウスの片付け等、生産性の低いと思われる仕事をボランティアが引き受けて作業することにより、農家が環境に配慮しながら農産物作りに専念でき、結果的に、消費者に安全で安心な農産品を提供してもらおうと活動しています。

ボランティアはチラシ等で一般公募しています。ボランティアの登録者数は年々増加し、2014年5月末現在で21人と、開始当初の3倍になりました。定年退職者や主婦ら60代が大半を占める他、学生も参加しています。

活動を広げたり、継続するために、行政やJAと連携した援農ボランティアの活動を行っている首都圏の先進事例を視察する等、援農ボランティアのシステムづくりに向けた活動も行っています。

ここが自慢

【援農ボランティアが支える農業】

農家から作業の指導を受けて、指示された作業をボランティアだけで行うため、農家は、その時間は別の農作業に専念できます。また、年間通してパートを雇用するのではなく、忙しいときに、ボランティアに作業に来てもらえることが農家の助けになっています。

援農ボランティアの活動を続けた結果、畑を増やしたという農家や新規就農につながった事例もあります。また、継続して参加してくれるボランティアも援農ボランティアの作業を希望する農家も増加しています。



アスパラ畑の雑草取りの様子

データ

■代表者：南信子さん／設立：2009年／会員：45名

■連絡先：札幌市南区川沿12条5丁目7-13

■電話：080-1868-6598

■FAX：011-572-9336

■H P：<http://fuzoroi-poro.iimdo.com>